

6月の聖句
なにかな／なんだろう／見つける

主はわたしたちを造られた。

詩編100章3節

今月のわらい

ぶどうぐみ

◇周りの物や人に興味を持ち、探索活動や遊び楽しむ。

◇自然に慣れ親しみ、身体で感じる。

はとぐみ

◇身の回りのことを自分でしようとする気持ちを育む。

◇梅雨期の身近な自然に触れながら、健康に過ごす。

ひつじぐみ

◇保育者や友だちと関わって遊ぶ楽しさを味わう。

◇雨や水たまりなど、身近な事象に触れながら、梅雨の自然に興味を持つ。

ゆりぐみ

◇保育者や気の合う友だちと一緒に好きな遊びを楽しむ、関わりを深める。

◇梅雨期の自然を見たり、生き物に触れたりして興味を持つ。

ばらぐみ

◇遊びや生活上のルールを知り、ルールを守りながら楽しく過ごす。

◇友だちと泥や水遊びなどを楽しむ。

ほしぐみ

◇友だちと保育者と遊びや活動を通して、気持ちを伝えあう中で仲間意識を深める。

◇活動と休息のバランスをとりながら、心地よく過ごす。

苦情解決委員会

苦情受付担当者：島内久美子・吉高知恵子

苦情解決責任者：五十嵐宏枝

第三者委員：畑 健次郎・花岡 尚樹

酒井 咲子



今年の梅雨入りは例年より早くなり、台風の影響もあって雨が続いています。梅雨期は大雨による災害が発生しやすいので、注意が必要です。登降園時には必ず気象情報を確認し、当園の保育のしおり(重要事項説明書の【気象警報発令・災害時に対する保育について】を再度ご確認ください。

溶連菌感染症やRSウイルス等の感染症の報告が週に2~4人程度あります。一度に増えてはみませんが、発熱症状等で体調を崩し、欠席や早退されるお子様が増えています。ご家庭との連絡を密にとりながら、体調管理に留意し、梅雨期も元気に過ごしてほしいと思います。

聖書の冒頭には、神様が7日間をかけてこの世界を造られたという「天地創造」のお話がありますが、実際には何十億年もかけて太陽と惑星ができ、そこにアミノ酸やタンパク質が生じて生命となり、進化が起きて……と考えられています。しかし、それらの不思議な現象が起きたのはなぜか。それら全てを存在させたものは何か。それらに貫く意志やそれら全てのもの背後にある何か大きな存在、そのことを昔から人々は「カミ」と呼んで来たのではないかと思います。「主が私たちが造られた」という今月の聖書の言葉も、そのような神による世界の創造という考えに基づいている言葉です。また聖書の中で「主」と訳されている言葉も、元々の意味は「存在を存在させるもの」という意味ですから、言い換えると「すべての命の根源である神」ということができます。

子どもたちに、月にいるウサギや家の中に隠れている小人、夜になるとか動き出すお化けたちのことなどを質問すると、たくさんのお話を教えてくれます。きっと、大人の目には見えなくても、小さい人たちには見えていることや覚えていることが、たくさんあるに違いありません。「神様が私たちが造られた」「全ての命は神様から与えられている」。それら子どもたちの感覚では当たり前なのかもしれません。だからこそ私たちは上も下もなく、大きいも小さいもなく、共に対等な命・人格として、互いに大切にしようことが求められているのだと思います。チャプレン 牛田 匡

6月の行事

- 1日(木) 歯科検診①
ほしぐみ個人懇談開始
 - 9日(金) 消防署立ち会い避難訓練
 - 13日(火) 誕生会
 - 14日(水) 尿検査(幼児部)
 - 15日(木) 歯科検診②
 - 23日(金) 交通安全教室
 - 30日(金) デイキャンプ(ほしぐみ)
- ※歯科検診の詳細はほけんだよりに記載します

先日、ほしぐみの子どもたちがたまねぎを収穫しました。(久宝寺のまちなみセンターより、たまねぎとさつまいもの苗植えと収穫を2期に渡り、取り組ませていただいています。)

恵の雨が草花や食物が育て、自然が喜ぶ。今月の讃美歌♪よい天気ありがとうでは『雨』を良い天気と捉え、止揚学園の女の子が「神さま、よい天気ありがとう」と空に向かって叫び、すべてに感謝するその心の美しさから生まれた歌だそうです。

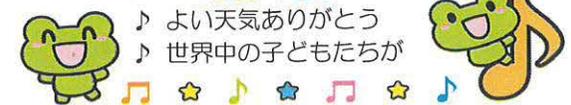
風水害等の危険と共に、自然を守り大切に心を子どもたちに伝えたいです。

法人の理念

キリスト教の愛の精神に立って、福祉サービスを必要とするすべての人に仕え、日常を支援し、常に人々の人権を護り、その人格の尊厳を尊重する。



6月のうた



家庭連絡

◆登降園時はQRコードで時間の入力をお願いします。QRコードをお忘れの時は手動入力ができますので、他のお子様とお間違いのないように、必ず保護者の方のご確認をお願いします。

◆コドモンのアプリでは、質問に返答することができません。質問等がある場合は、お電話か直接職員にお声かけくださいますようお願いいたします。

◆雨が降ると車を利用されるご家庭が増え、登降園児の時間帯によっては、駐車場がいっぱいになり、少しお待ちいただくこととなります。皆様が気持ちよく利用できるように、駐車時間は短時間をご利用ください。

◆降園時は、園庭や駐輪場・駐車場で遊ばずにお帰りください。

◆登降園時は、車や自転車などに十分注意し、お子様から目を離さないようにしましょう。門扉と上部のスライドは必ず閉めて、エントランスから飛び出さないように、お子様と一緒に門扉を出るようにしてください。

◆傘をさして登園することが多くなります。同じような傘が多いので、お間違えのないように必ず記名をお願いします。長靴も同様です。

※風水害等の避難訓練を行う時に、2階や3階に避難をします。職員が子どもたちの靴を集めて運びますので、必ず靴にも記名してください。

◆水遊びや沐浴・シャワー等に関しては、各クラスだよりや掲示でお知らせしますので、ご準備ください。